

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第97回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第38回総会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第97回運営委員会議事録

日 時：10月24日(水) 18:50 - 21:30

場 所：神戸大学統合研究拠点CPSセミナー室

運営委員会委員：

出席(16名)

渡邊誠一郎, 田近英一, 倉本 圭, 荒川政彦, 林 祥介, 渡部潤一, 橋 省吾, 中本泰史, 並木則行,
中村昭子, 小久保英一郎, 平田 成, 千秋博紀, 城野信一, 小林直樹, はしもとじょーじ

欠席(委任状あり6名)

荒井朋子, 佐々木 晶, 高橋幸弘, 永原裕子, 中村良介, 三河内 岳

欠席(委任状なし1名)

井田 茂

オブザーバー：

大槻圭史, 保井みなみ(神戸大LOC), 三浦弥生(欧文誌専門委員会委員)

議 題：

1. EPSをめぐる状況について

三浦欧文誌専門委員会委員から報告がなされた。EPS誌は、1998年から5学会共同で出版され、創刊時から科研費(研究成果公開促進費)を受けている。来年度から科研費は、国際情報発信強化(A)、国際情報発信強化(B)、オープンアクセス刊行支援の3つの応募区分へと変わる。EPS運営委員会はJpGUと調整してきた。JpGU誌はオープンアクセス刊行支援、EPS誌は国際情報発信強化(A)に応募の決定。来年度についてはJpGUとEPSは別々に応募し、2016年度以降はJpGU誌に統合される。JpGUはレビューを重視(2割程度)し、EPSはレターを重視する。

2014年1月よりEPSはオープンアクセス化を行う方針。図書館購読収入がなくなるので、著者が論文掲載料を負担する。科研費の支援によって、初期導入価格を低く設定するが、5年間のうちに増額していき自立を目指す。論文掲載料の詳細は検討中。JpGUと同じ出版社とする。惑星科学会のEPS分担金は20万円への増額を要請されている。EPS賞の副賞はやめるように要望中。

科研費応募の条件として外国人編集者も半分程度必要。出版社から推薦される編集者を検討するが、適任者がいれば早急に推薦していただきたい。

報告に対して議論が行われた。オープンアクセスから統合まで2年あるのは望ましくない。なるべく歩

調を合わせ、早く合流を目指したいと5学会側が言う必要がある。EPSがレター誌と役割を分けることが良いことが議論が必要。

2. JpGU ジャーナル編集委員、編集運営委員会委員について

三浦欧文誌専門委員会委員から報告がなされた。JpGUジャーナルの編集委員あるいは編集運営委員会委員を一人出してほしいとの要請があった。今の欧文誌専門委員での兼任は困難。欧文誌専門委員の間で相談して候補者案を出すこととなった。

3. 会計第11期下期中間報告

中本財務専門委員会委員より収入、支出ともに、予算案通り進んでいるとの報告がなされ、中間報告は了承された。

4. 会計第12期上期予算案

中本財務専門委員会委員より報告がなされた。特記事項としては、EPS負担金が5万円から10万円に増額、EPS事務局からは15-20万円増額を要請されている。フロンティアセミナーへの補助金が10万円から20万円に増額。探査育英会への補助費15万円を計上。遊星人のカラーページとして20万円を追加計上。特別会計には繰越金が残っているため、一般会計への発表者賞賞金の移管を行わない。匿名の方からの寄付金10万円をいただいた。深く感謝する。最優秀者賞賞金として使わせていただく。

質疑応答が行われた。学生のサーバー管理の謝金24万円が必要。2012年度からイーサイドから支払う形となったため、他の経費に含まれている可能性があるが、財務が至急確認する。単年度決算が赤字となるため、謝金が含まれていない場合、遊星人カラーページへの追加計上は行わないこととなった。14年度以降の予算で赤字分20万円程度をどうするかは財務で検討する。

5. 自然災害に伴う会費免除措置について

中本財務専門委員会委員より報告がなされた。1月まで受け付けるが、現時点申請なし。

6. 選挙管理委員会の発足および委員の承認について

平田総務専門委員会委員長より選挙規定や日程の説明がなされた。オンライン投票のため選挙管理委員は、特に外部の人を頼まず、総務委員が兼任することで承認された。選挙管理委員長：平田成、同委員：生駒大洋、城野信一、長沢真樹子、日高宏、諸田智克。選挙日程は、10/29-11/15会長候補者の推薦・募集、11/19-12/9役員選挙公示・投票受付、12/17-1/15会計監事候補者公示・信任投票受付とする。総会で案内を行う。

7. 2013年秋季講演会・学会賞実施案等

渡部2013年度秋季講演会組織委員会委員長から説明がなされた。台風の時期を避け11/20(水)-22(金)に実施する。市民会館を使用予定で仮押さえ済み。石垣市に協力いただく。11/23に一般向け講演会予定だが、市民会館がシネマフェスタに利用される可能性があり、調整中。日程については気象学会と重なってしまうが、他の日程でも各種研究会等と重複。

8. 2014年秋季講演会LOCについて

中村行事部会部会長から報告がなされ、東京工業大学が担当することで承認された。

9. 日本地球惑星科学連合の報告

田近副会長より報告された。JpGUジャーナル問題以外としては、2014年7月AOGSが北大開催され、各学会に要請が来るので協力をお願いする。2016年はゴールドシュミットで協力要請が来ている。

学術会議の大型プランのマスタープランの改訂について議論された。今回は学会を通して、あるいは学術会議の会員、連携会員からしか出せない。関連の計画を調べたうえで学会から出すことを春くらいまでに議論しておく。探査について、天文と地球科学の隙間に落ちないように戦略的に提案する。来る10年とも連携し、倉本将来計画専門委員会委員長が情報収集して、しかるべく対応することとなった。

大学教育の参照基準を作っていることが報告された。

10. 来る10年第三段階について

2012年から開始した第3段階の現状や第3段階の趣旨と進め方など総会で報告される内容について、並木将来惑星探査検討グループ長から簡単に紹介された。4月にキックオフ会議。5月に第2会合で第3段階の評価の方針を議論、以降毎月会合。9月14日、15日にセクション別分科会をおこない、13提案をまとめ上げていくことを目的に提案者間で議論。この議事録は公開されている。今後は、各提案者がマージできる提案はマージしミッションコンセプトの準備を行い、年内にミッションコンセプトについて議論をする。12月の会議で中期ビジョンの整理を行う。SGEPSS将来計画とも共通の議論を進める。連合大会セッションを継続。

11. 学会賞受賞者の決定

林2012年度学会賞選考委員会委員長より、講評が述べられ、2012年度学会賞選考委員会は長勇一郎会員を受賞者として推薦することが報告され、異議なく了承された。

12. 日本惑星科学会貢献賞の設置について

荒川運営委員と林運営委員から提案がなされ、荒川運営委員から背景と趣旨の説明があった。惑星科学会も20周年となり、学術的成果以外の広い範囲で学会活動や惑星科学の進展や振興に大きな貢献をしてくれた方々に、学会として感謝の意を表すことを目的とする。競争的ではなく、学会員に限らず広く一般の個人および団体を受賞対象者とし、運営委員会で審査する。

提案に対して議論がなされた。学会員に出すのは失礼との意見が出た。内規を作るのではなく、慣例として具体的な事例ごとに、その都度運営委員会で承認することとして合意された。会長が総会で説明することとなった。

13. その他

倉本将来計画探査委員会委員長より、将来計画を小林直樹委員と検討中であり、皆さんの協力をお願いする。

報告：

1. 入退会について

平田総務専門委員会委員長より報告がなされた。現在の正会員数は632名。(財)リモートセンシング技術センターが賛助会員を今年度末で退会予定で賛助会員は来年度5社に。今年度末で東大理学部地球惑星が法人購読会員退会。

2. 遊星人の発行状況

はしもと編集専門委員会委員長よりつつがなく発行されているとの報告がなされた。

3. 2012年秋季講演会報告

大概2012年度秋季講演会組織委員会総務より報告された。講演会は、口頭101件、ポスター51件の合計152件である。全日程での参加見込み人数は約180名。秋季講演会事業は予算・決算は赤字でないで、学会からのサポートは不要。懇親会参加者は約120名を見込んでいる。宇宙研からの繰越金を用いて、赤字は出ない予定だが、繰り越しができるかは微妙。一般講演会は27日(土)15時半からに巽先生(神戸大学)をお招きし、ポートアイランドの神戸市科学館との共催で開催。200名の定員に対して250名の応募があったが、臨時席を作って全員収容で対応。予講集の電子化アンケートのご協力を。

4. ウェブサーバのサーバ証明書の更新について

千秋情報化専門委員会委員長より経緯の説明がなされた。任意団体からの受付は、第3者機関からの意見書が必要となり、時間的制約からイーサイド社の会計士をお願いした。1-2万円かかる予定。来年は連合に意見書をお願いする。

5. その他

平田総務専門委員会委員長より第38回総会の議長として佐伯和人会員(大阪大学)、書記に晴山慎会員(JXSA)が推薦され、了承された。

渡部委員から Asteroids, Comets, Meteors 2011(日本惑星科学会後援)が5月に新潟で開催されたことが報告された。33カ国399名参加。

中村行事部会部会長から、過去の子講集をPDF化したので、ワンセット 20冊残っている紙媒体を廃棄してよいかと提案された。渡部会長が名大で保管することになった。

日本惑星科学会第38回総会議事録

日 時：10月25日(木) 16:35 - 17:35

場 所：神戸大学統合研究拠点2階ホール

〒650-0047 神戸市中央区港島南町7丁目1番48

正 会 員：632名

定 足 数：63名

参加人数：99名(開会時)→107名(議事3.2採択時)

委 任 状：121通(議長：116, 林祥介会員：2, 春山純一会員：1, 本田親寿会員：1, 宮本英昭会員：1)

1. 開会宣言

平田総務専門委員長が開会を宣言。

2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に佐伯和人会員、書記に晴山慎会員が選出された。

3. 議事

3.1. 第11期下期(2012年度)中間報告

・会計報告：

中本財務専門委員から2012年度中間報告がなされた。収入・支出とも順調に推移している。

・各種専門委員報告：なし

・質疑応答：なし

・採択

第11期下期(2012年度)中間報告について承認採択が行われた。賛成226(内出席者105), 反対0, 保留0で採択された。

3.2. 第12期上期(2013年度)予算案

中本財務専門委員から2013年度の予算案について説明がなされた。全体予算と2012年度からの変更点が説明された。単年度で約10万円の赤字の予定。

変更点：

・2012年との比較：EPSへの支出が要請により10万円に増額している。

・補助金支出を外部資金の獲得が難しいため増額している。

・最優秀研究者賞賞金への支出を0とした。

・質疑応答：なし

・採択：

第12期上期(2013年度)予算案について承認採択が行われた。賛成：228(内出席者107), 反対：0, 保留：0で採択された。

4. 報告事項

4.1. 2012年度最優秀発表賞

林学会賞選考委員会委員長より審査結果発表と講評がなされた。長勇一郎会員に対して2012年度最優秀発表賞の受賞が行われた。

4.2. 2012年秋季講演会の報告

荒川2012年度秋季講演会組織委員会委員より2012年秋季講演会について報告がなされた。10月24～26日、神戸大学総合研究拠点コンベンションホールにて開催。神戸大学110周年記念事業として実施。講演は、口頭101件、ポスター51件、キャンセル2件。参加者数は、1日目164名、全日程では180名程度になる見込み。一般講演会は10月27日神戸市立青少年科学館にて実施。巽好幸氏が講演を行う。

4.3. 2013年秋季講演会の案内

2013年の秋季講演会について国立天文台の渡部2013年秋季講演会組織委員会委員長より説明があった。LOCは国立天文台が実施。場所は石垣島にて実施予定。会場は、石垣市の協力により市民会館を利用する予定。日程は台風シーズンが終わった11月20～22日に実施予定。

4.4. 来る10年第3段階について

並木将来作成探査検討グループ長より活動状況について報告がなされた。現在、第3段階の活動を行っている。今後の方針として、提案をもとめて1つのミッションとしていく。12月に会合を予定。今後は他分野との連携を図り、まずはSGEPSSと次回連合大会で、共同セッションを開催予定。

・質疑応答：

佐伯議長より、SGEPPSでの将来計画の提案状況について質問。並木グループ長より、来年度から始まるマスタープランに反映させるための活動をしており、現在は新たな提案を受け付けるのではなく、これまでのSGEPPSでなされた多くの提案を元に進めているとの回答があった。

4.5. その他

中本財務専門委員会委員からの会費免除制度と寄付金について報告がなされた。会費免除制度は災害救助適用地域に居住、勤務(本人、親)されている会員に申請により適用される。匿名の方から10万円の寄付金があった。最優秀発表賞の賞金として使用する。

平田総務専門委員会委員長から、第12期の役員選挙について説明があった。選挙管理委員を運営委員会で決定。10月29日より会長候補受付、11月19日?12月9日の間投票受付。12月17日より会計幹事について公示・信任投票受付(1月15日まで)。渡邊会長より、惑星科学会設立20周年に対して、今後の探査戦略への会員の協力を要望、および学会に協力してくれた方々への感謝の意を表すことを運営委員会で検討する旨について報告があった。

5. 議長団解任

6. 閉会宣言

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2012年12月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

アメテック株式会社カメカ事業部
 株式会社五藤光学研究所
 シャープ株式会社
 有限会社テラパブ
 株式会社ニュートンプレス
 一般財団法人リモート・センシング技術センター

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a)場所, (b)主催者, (c)ウェブページ/連絡先など。
 転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません。各自でご確認ください。

2013/05**19-24 日本地球惑星科学連合大会**

(a)幕張メッセ国際会議場, 千葉県, 千葉市 (b)日本地球惑星科学連合(日本惑星科学会共催)
 (c)<http://www.jpгу.org/meeting/>

2013/06**02-09 第29回宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS)**

(a)名古屋市国際会議場 (b)第29回宇宙技術および科学の国際シンポジウム組織委員会・日本航空宇宙学会(日本惑星科学会協賛)
 (c)<http://www.ists.or.jp/2013/>

2013/11**20-22 日本惑星科学会秋季講演会**

(a)石垣市民会館, 沖縄県, 石垣市 (b)日本惑星科学会主催
 (c)https://www.wakusei.jp/meetings/fall_meeting/